

## 2 学力向上推進

### 1 『学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ』 学びの質を高める授業改善・学校改善

#### 総括目標

幼児児童生徒一人一人に「生きる力」の基盤となる  
「新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力」を育む

#### 【学力向上推進の3つの視点】

- ① 自己肯定感の高まり（児童生徒が、自分のよさや可能性を認識すること）
- ② 学び・育ちの実感  
（児童生徒が、学ぶことの意義や価値を実感し、資質・能力を伸ばすこと）
- ③ 組織的な関わり  
（各学校が、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと）

#### 取組の重点

学びの質を高める授業改善・学校改善

#### 学びの質を高める5つの方策

##### 方策1 日常化する【質的授業改善】

- 児童生徒が学んだことの意義や価値を実感し、自己肯定感を高める個人内評価の取組を日常化する
- 生徒指導の3つのポイントを生かした授業を日常化する
- 資質・能力を育むために、単元を見通した授業改善を日常化する

##### 方策2 そろえる【組織的共通実践】

- 見取る視点・観点を共有し共通実践する
- 「学習の基盤となる資質・能力」の育成

##### 方策3 支える【発達の支援】

- 確かな児童生徒理解
- 学びに向かう集団づくり
- 支持的な風土をつくる学校・学級経営の充実（ガイダンスとカウンセリング）

##### 方策4 見通す【学校組織マネジメント】

- 学校課題解決に向けた組織マネジメントの機能を高める
- 学校評価と関連付けたカリキュラム・マネジメント及び年間サイクルの確立
- 授業改善・学校改善に向けた校内研究体制の充実

##### 方策5 つなぐ【学校連携・地域連携】

- 市町村の特色を生かした施策推進による学校づくり
- キャリア教育の視点を踏まえた校種間の連携強化
- 学校・地域・家庭の互恵的関係の構築

2 学びの質を高める5つの方策の取組事項

	取組事項		確認
方策1	日常化する 【質的授業改善】	○生徒指導の3つのポイント（自己存在感・共感的人間関係・自己決定の場設定）を生かした授業を日常化する ○資質・能力を育むための授業改善を日常化する。	
方策2	そろえる 【組織的共通実践】	○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業マネジメントをそろえる ○児童生徒の実態を踏まえた「学習の基盤となる資質・能力」の育成	
方策3	支える 【発達の支援】	○確かな児童生徒理解 ○支持的風土（安心・所属・承認・自立）を土台とした、学びに向かう集団づくり	
方策4	見通す 【学校組織マネジメント】	○「学びの質を高める授業改善・学校改善」サイクルの確立 ○資質・能力の育成を目指す授業改善やその土台となる学校改善を推進するための校内研究体制の充実	
方策5	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○キャリア教育の視点を踏まえた校種間連携 ○地域の特色を生かした教育活動（保護者・地域・関係機関との連携）	



課題等への対応

	取組事項	各自の対応策
方策1	日常化する 【質的授業改善】	
方策2	そろえる 【組織的共通実践】	
方策3	支える 【発達の支援】	
方策4	見通す 【学校組織マネジメント】	
方策5	つなぐ 【学校連携・地域連携】	